

最優秀提案の概要について

1 事業の方針

場づくりを“まちづくり”につなぐ well-being Park 構想

個人としてのウェルビーイング（心身ともに健康である状態）と社会としてのウェルビーイング（人がつながりまちが健全である状態）の実現に向けて千波公園で過ごす豊かな時間を創造し、水戸市のさらなる活性化を目指します。

2 事業実施体制

代表法人	構成企業	
大和リース(株) 支店:茨城県水戸市	(株)アダストリア 本店:茨城県水戸市	(株)横須賀満夫建築設計事務所 本店:茨城県水戸市

3 公募対象公園施設及び特定公園施設の整備計画

(1) 公募対象公園施設の概要（敷地面積 5,498 m²，予定延床面積 2,044 m²）

- ① マルシェ ② 物販施設 ③ カフェ ④ レストラン ⑤ ベーカーリー
- ⑥ スポーツラウンジ・サウナ ⑦ 交流スペース
- ⑧ コンディショニングセンター ⑨ アウトドア ⑩ 駐車場
- ⑪ 多目的コート

(2) 特定公園施設の概要（敷地面積 7,143 m²，予定延床面積 304 m²）

- (ア) トイレ・防災倉庫 (イ) インフォメーション (ウ) 休養施設 (エ) 遊戯施設
- (オ) 石像 (カ) 修景施設 (キ) 芝生の広場 (ク) 駐輪場 (ケ) デッキ (コ) 植栽
- (サ) 園路

(3) 偕楽園本園からの眺望に配慮した提案

・偕楽園本園からの景観配慮

徳川斉昭公の「一張一弛」の思想により造られた偕楽園本園は、この地にしかない景観を作り出しています。そこで、水・緑・景観の保存、埋設施設への配慮など、この地の環境を活かすことを施設計画の基本とします。眺望を損なわない色彩の木造平屋建小規模建築を自然で繋ぐことにより、環境に溶け込むことを考えます。また、施設の高さを抑え、景観への影響を低減します。

▼偕楽園からの眺望



・偕楽園公園との一体的景観配慮

自然的景観を保存し、親和性の高い施設として人や自然や生態系に寄り添い、偕楽園公園の一体的景観を創出します。

また、歴史的景観と同調する施設デザイン、偕楽園の景観に配慮した自然と調和する色彩計画にするとともに、建物の高さを抑え、木々のスカイラインに調和する勾配屋根とします。

▼外観イメージ



(4) 施設配置・施設規模の計画の提案

- ・周辺環境と連携した3つのゾーニング計画で、滞在性・利便性を向上

既存環境から生まれた空間に施設を分棟配置し、あらゆる方向からのアクセス性や周辺環境との連携を向上させます。また、まちなかと千波湖周辺を結ぶ動線を創出し、賑わいを連続させます。

